

# セントレアにおける 水素利活用モデル構築に向けた取組

## セントレア水素社会形成WG・産業車両導入促進WG

株式会社鈴木商館  
中部国際空港株式会社  
東邦ガス株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社豊田自動織機  
愛知県

# 1. WG（設立の背景）

- 水素エネルギーの利活用は、3つの視点から積極的な取組が必要である。
  - 環境(地域温暖化対策の一環としての温室効果ガス(CO2等)の削減)
  - エネルギーセキュリティ(エネルギー調達の多様化)
  - 産業競争力(日本が有する世界最先端の燃料電池分野の技術活用)
- 自動車産業が盛んな愛知県では、県内産業の持続的発展に寄与するであろう水素社会の形成に向けて、産学行政が一体となって取り組んでいる。
- こうした動きを今後更に加速していくためには、水素の安全性に対する理解はもちろんのこと、水素利用の意義についても広く一般に認識を共有していくことが必要である。
- そのような状況にあって、国内外から多くの人を訪れる中部国際空港において、水素社会のモデルケースを確立し情報発信をしていくことは、絶好のPRとなると考え、その実現を目指すWGを設立した。

# 1. WG (概要)

セントレア水素社会形成WG	
設置	平成27年6月10日
目的	中部国際空港の水素ステーションを活用した水素需要の創出
構成	愛知県、中部国際空港株式会社、東邦ガス株式会社、トヨタ自動車株式会社(五十音順)

セントレアFC産業車両導入促進WG	
設置	平成29年4月20日
目的	中部国際空港におけるフォークリフト等産業用車両のFC化
構成	愛知県、株式会社鈴木商館、中部国際空港株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社豊田自動織機(五十音順)

## 2. セントレアでの取組（過去）

- 国のプロジェクトの一環として「愛・地球博」で活躍した燃料電池バス及び水素ステーション(空港島に2006年7月完成)を継承し、セントレアで走行試験が実施された。
- 燃料電池バスは、中部国際空港を起点とした路線バスと(2006年3月から2009年12月まで)、制限区域旅客送迎バス(2006年8月から2013年8月末)として走行。



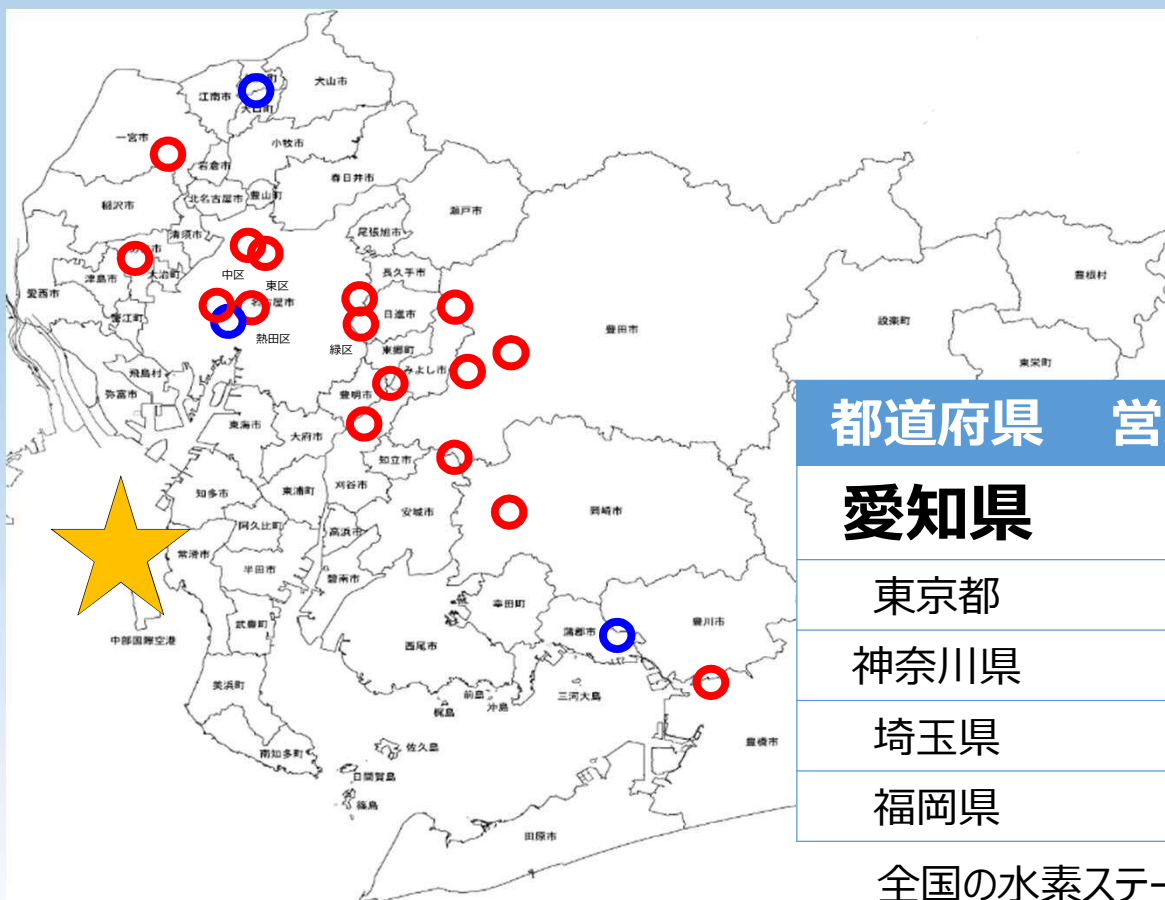
## 2. セントレアでの取組（現在）

- 空港内貨物地区に燃料電池フォークリフト用の水素充填所が完成。
- 貨物の運搬等を行うグランドハンドリング業者様によるFCフォークリフトの導入。



## 2. セントレアでの取組（現在）

セントレア水素ステーションは知多地域では初の水素ステーション  
3月19日オープン



都道府県	営業中	整備中	合計
<b>愛知県</b>	<b>17</b>	<b>3</b>	<b>20</b>
東京都	14	2	16
神奈川県	13	0	13
埼玉県	8	1	9
福岡県	9	0	9

全国の水素ステーション整備状況(箇所数)



# 3. セントレア水素ステーション (1)



【空港島全景】



【整備場所】

## 3. セントレア水素ステーション（2）

区 分	内 容
整備事業者	東邦ガス(株)
名 称	セントレア水素ステーション
特 徴	燃料電池バス（FCバス）への大容量充填が可能 現地で都市ガスから水素を製造 水素普及啓発コーナーを併設



## 4. FCバス定期運行

地域活性化プロジェクト「CHITA CATプロジェクト※」のイオンモール常滑と中部国際空港セントレアを結ぶシャトルバスへ、今年6月からのFCバス導入に向けて準備中

無料 往復シャトルバス  
- FREE SHUTTLE BUS



Centrair

AEONMALL

TOKONAME

AEONMALL TOKONAME

イオンモール常滑

Central Japan International Airport

中部国際空港

所要時間  
約15分

※CHITA CATプロジェクトとは

知多半島の地域活性化を目的に2015年11月に発足したイオンモール(株)と中部国際空港(株)と知多半島・常滑地域の趣旨に賛同する自治体、企業、団体等との共同プロジェクト。

# 4. FCV、FCバス(概要)

## 【特長】

- エネルギーの多様化  
水素は多様な一次エネルギーから製造可能
- ゼロエミッション  
走行中のCO2排出ゼロ
- 走りの楽しさ  
モーター駆動ならではの变速のない滑らかな加速と静粛性、発進～低・中速域の加速の良さ
- 使い勝手の良さ  
航続距離 (MIRAI : 約500km、SORA : 約200km)  
水素充填時間(MIRAI : 約3分、SORA : 約10分)
- 非常時電源供給  
供給能力の大きさ (MIRAI : 約60kWh、SORA : 約235kWh)



FCV : MIRAI



FCバス : SORA

# 5. 水素エネルギー利活用モデルの構築

- セントレアにおいて先導的な水素エネルギー利活用モデルを構築
- 取組を全県へ拡大、国内外へ情報発信



さまざまなシーンでの水素エネルギーの利活用を目指す

## 6. 気運醸成（記念イベントの開催）

- WGの取組を、事業者様を始め広く県民の皆様にPR
- 燃料電池バスに試乗し、ステーションを見学
- セントレア水素ステーション利用でセントレア駐車場割引サービス

### 事業者向け見学ツアー

「水素エネルギー社会形成研究会  
現地見学会 in セントレア」  
3月20日・22日・25日・26日

### 一般向け見学ツアー

「来て！見て！なっとく！  
燃料電池バスで行く  
水素社会体験ツアー」  
3月21日・23日・24日

### 燃料電池自動車 ステーション利用促進 キャンペーン

水素充填車にセントレア P1・P2  
駐車場割引サービス券謹呈  
3月20日～7月12日

# 7. WGGの今後の取組

